

実践×ケーススタディで
構想力・提案力をUP!!

ロボット Sler 養成講座

第7期

Sagamihara Robot
System Integrator Training Program



カリキュラム

前期	令和5年 9月中旬	(事前講義①) • 付加価値に着目したシンプルな設備設計
	10月2日(月) 3日(火)	• 課題やニーズを引き出す質問力 • Sler目線での現地調査ポイント • 事前講義①Q&A • 現地調査・ヒアリング
中期	10月上旬	(事前講義②) • ロボットSlerのための安全講座
	11月9日(木) 10日(金)	• Slerケーススタディ「ロボットハンド」 • 事前講義②Q&A • 中間発表会
後期	12月4日(月)	• 日本ロボットシステムインテグレータ協会 とSI検定制度 • 最終発表会

※修了生&学生は受講無料

単科受講 OK !

事前講義(オンデマンド講義)を
1科目から受講できる単科生制度あり

＜こんな方におすすめ＞

- ★ 特定のテーマのみ受講したい方
- ★ スケジュールの都合ですべての講義には参加できない方
- ★ 以前学んだ内容を学び直したい方

※単科受講できる科目や受講料等は、中面のカリキュラムや募集要項をご確認ください。



さがみはらロボット
導入支援センター
Sagamihara ROBOT SUPPORT CENTER

ロボット Sler 養成講座とは？

これからのロボットSlerには、工場や生産工程全体を捉えたシステム構想力・提案力が欠かせません。また、リモートでの顧客対応力やヒアリング力／プレゼンテーション力もますます重要になっています。第7期を迎える「ロボットSler養成講座」は、実践×ケーススタディを中心にカリキュラム編成された相模原市オリジナルの超実践型自動化人材育成プログラムです。

講座期間内であれば、好きなときに、何度でも視聴可能!!

本講座のポイント

POINT

1 実践型グループワーク



実際に自動化・ロボット導入を検討している企業を題材とした実践型グループワーク

POINT

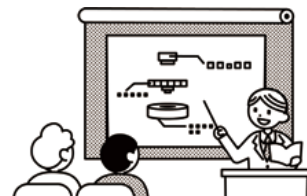
2 ケーススタディ



ニーズが高い業種や要素技術の事例を活用したケーススタディ

POINT

3 オンデマンド講義



Slerに必要な知識を学ぶ技術講座のオンデマンド配信(事前講義のみ)

ロボットSlerとしての「構想力・提案力」や「専門性」をアップ!!

講座の進め方

START

STEP 1

REC オンデマンド



シンプルな設備設計

STEP 2

リアル参加



課題やニーズを引き出す質問力
Sler目線での現地調査ポイント

STEP 3

リアル参加



現地調査・ヒアリング

STEP 4

リアル参加



グループワーク

ロボット
Sler
養成講座



STEP 8

LIVE オンライン



最終発表会

STEP 7

リアル参加



中間発表会

STEP 6

リアル参加



ケーススタディ「ロボットハンド」

STEP 5

REC オンデマンド



安全講座

▶ グループごとに検討した自動化システムの構想を訪問した企業や有識者に向けて提案・発表します。

カリキュラム

オリエンテーション

LIVE オンライン

単科
受講

9月14日(木)
or 15日(金)
10:00-11:00

ロボットSler養成講座の進め方とカリキュラム説明

さがみはらロボット導入支援センター

前期

REC オンデマンド

(配信期間:令和5年9月中旬～令和5年10月2日(月)まで)

9月中旬に
配信予定

(事前講義①)
付加価値に着目したシンプルな設備設計(約3時間)

青山学院大学理工学部
経営システム工学科
教授 松本 俊之 氏

リアル参加

10月2日(月)
10:00-17:00

課題やニーズを引き出す質問力

株式会社スタンコミュニケーションズ
代表取締役 松尾 由紀子 氏

Sler目線での現地調査ポイント

JET株式会社

現地調査・ヒアリングの事前説明

さがみはらロボット導入支援センター

10月3日(火)
10:00-17:00

事前講義①Q&A
付加価値に着目したシンプルな設備設計

青山学院大学理工学部
経営システム工学科
教授 松本 俊之 氏

現地調査・ヒアリング／グループワーク

現地調査・ヒアリング先企業

中期

REC オンデマンド

(配信期間:令和5年10月上旬～令和5年11月9日(木)まで)

10月上旬に
配信予定

(事前講義②)
ロボットSlerのための安全講座(約6時間)

日本認証株式会社
SA事業部 教育事業部
部長 栃尾 昌洋 氏

リアル参加

11月9日(木)
13:00-17:00

Slerケーススタディ「ロボットハンド&周辺機器」

株式会社 近藤製作所

11月10日(金)
10:00-17:00

事前講義②Q&A
ロボットSlerのための安全講座

日本認証株式会社
SA事業部 教育事業部
部長 栃尾 昌洋 氏

中間発表会

後期

LIVE オンライン

12月4日(月)
13:00-17:00

日本ロボットシステムインテグレータ協会とSI検定制度

一般社団法人
日本ロボットシステムインテグレータ協会
高本 治明 氏

最終発表会

※単科受講は、「オンデマンド配信による事前講義」と「事前講義Q&A」の1セットでの受講となります。
なお、単科受講者に限り、「事前講義Q&A」にはオンラインでも参加可能です。

講師



青山学院大学
理工学部 経営システム工学科 教授

松本 俊之 氏

慶應義塾大学大学院理工学研究科博士課程管理工学専攻修了。現在は青山学院大学理工学部経営システム工学科教授。博士(工学)。専門はIE (Industrial Engineering) であり、「見る、視る、観る、やってみる」を基本姿勢として、現場改善技術と教育システムの開発の研究にあっている。



株式会社スタンコミュニケーションズ
代表取締役

松尾 由紀子 氏

ビジネスコミュニケーションコーチ。国内外テレビ局での報道記者兼アナウンサーとしての経験から、ロジカルコミュニケーション、プレゼンテーションを専門に企業研修を実施している。社外の組織を巻き込んだ協業をコミュニケーションの分野から支援する研修サービスや、社内外の情報共有を加速する「相手の時間を奪わない」論理的コミュニケーション研修、顧客潜在ニーズを顕在化するヒアリング力向上研修には高い評価が寄せられている。



JET株式会社

超精密機械加工、高精度ハイテク産業機器（製造設備、ロボット等）の開発・設計・製造、省力化自動機、多軸ロボットを組み合わせたロボットシステムの設計開発業務を展開する相模原市内の提案型システムインテグレータ。豊富な経験と“得意分野技術”の磨き上げで、地域内外の顧客ニーズに対応している。



日本認証株式会社
SA事業部 教育事業部 部長

栃尾 昌洋 氏

長岡技術科学大学機械システム創造専攻修士卒業。在学時より機械安全に取り組み、学内ベンチャーも立ち上げた。その後、外資系コンポーネントメーカーの営業を経て、日本認証に入社。機械安全に関する講習会講師を担当し、国内外で年間100回以上の講習会を実施。また、コンサルタントとして、製造現場で個別課題の解決にも取り組んでいる。



株式会社近藤製作所

自動車部品加工からスタートした近藤製作所。戦後間もなくから製造現場の自動化を進めてきたノウハウを基に、FAシステムの構築や提案。業界トップレベルのバリエーションのハンド&チャック・ロボット周辺機器など、未来のモノづくりを支える幅広い製品を扱っている。工場に最適なFAシステムをトータルで提案。



一般社団法人
日本ロボットシステムインテグレータ協会

高本 治明 氏

日本ロボット工業会にて2015年より経済産業省「ロボット導入実証事業」事務局を担当。400件以上のロボット導入事例を担当。その後、FA・ロボットシステムインテグレータ協会の設立に携わり、2018年よりFA・ロボットシステムインテグレータ協会の事務局を担当。2023年より同団体を一般社団法人化。教育制度整備、検定制度設立などに携わる。

ロボットシステムに携わるすべての方へ

受講者の声



【業種】 Sler
【階層】 リーダークラス

ソフト設計者にとっても、有意義な経験と知識が得られる講座でした。終わってみれば、「Sler」という仕事の面白さに改めて引き込まれました。



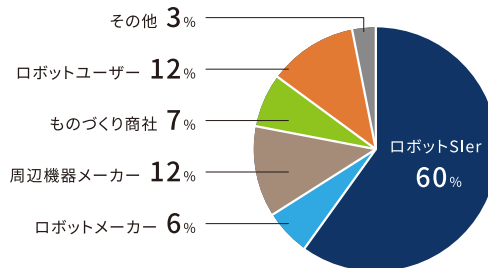
【業種】 FA 機器商社
【階層】 一般社員

「Sler ケーススタディ」では、グループで検討したあと、実際に導入されたシステムと比較することができ参考になりました。全体を通して、実務に活かせる内容で、他にはない充実した講座でした。

業種不問

Sler 以外も受講 OK !

【受講実績】

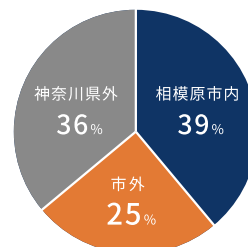


地域不問

約 30%が神奈川県外からの受講!

【受講実績】

- 市外 (県内)
横浜市、川崎市、大和市、厚木市、座間市、秦野市、藤沢市など
- 県外
東京都、埼玉県、群馬県、長野県、石川県、大阪府、広島県など



募集要項

★相模原市外の企業も受講できます★

【期間】 令和5年10月～12月(本講義:5日間、事前講義:2科目)※オリエンテーションを除く

【会場】 前期:サン・エールさがみはら(2階・第1研修室)
中期:相模原市立産業会館(3階・大研修室)
後期:オンライン(Zoomミーティング)

【対象者】

本科生	ロボットSierやメーカー、商社、ものづくり企業等の若手・中堅エンジニア、技術営業スタッフなど
単科生	【推奨】「ロボットSI基礎講座(日本ロボットシステムインテグレータ協会)」や「産業用ロボット特別教育」の修了者など
修了生	過去に相模原市「ロボットSier養成講座」を修了した方 ※修了時に在籍していた企業を退職している方は対象外です。
学生	大学(修士・博士課程を含む)または高等専門学校(高専)に在学中の方 ※申込受付後、学生証の写し等をご提出いただく場合がございます。

【受講料】

	相模原市内事業者	相模原市外事業者
本科生	88,000円	110,000円
単科生	1科目 13,200円	1科目 16,500円
修了生	無料	
学生	無料	

(すべて消費税込)

※修了生が無料で受講できるのは単科受講のみです。本科受講を希望される場合は、本科生の受講料が適用されます。

なお、その場合、単科受講科目相当分の割引は行いませんので、あらかじめご了承ください。

※学生が受講できるのは、単科受講のみです(本科受講はできません)

【定員】 15名(先着順)※単科生・修了生・学生は定員なし(原則)

【申込方法】 WEBサイト/E-Mail/FAXよりお申し込みください(申込書参照)

【主催】 相模原市・株式会社さがみはら産業創造センター

【お問い合わせ】 さがみはらロボット導入支援センター(事務局:株式会社さがみはら産業創造センター)

担当:事業創造部 樽川・村山

〒252-0131 神奈川県相模原市緑区西橋本5-4-21

TEL:042-770-9119 FAX:042-770-9077 E-Mail:sier-info@sic-sagamihara.jp

アクセス

前期会場 サン・エールさがみはら

〒252-0131 神奈川県相模原市緑区西橋本 5-4-20



中期会場 相模原市立産業会館

〒252-0239 神奈川県相模原市中央区中央 3-12-1



【徒歩】JR横浜線・JR相模線・京王線 橋本駅南口から徒歩約10分

【バス】JR横浜線・JR相模線・京王線 橋本駅から5～10分

【お車】市営駐車場あり(無料)

【徒歩】JR横浜線 相模原駅南口から徒歩約20分

【バス】JR横浜線 相模原駅南口から約8分

【お車】市営駐車場あり(有料)

「ロボット Sler 養成講座」受講申込書

■ E-Mail または FAX で申し込む場合は、申込書に必要事項をご記入のうえ、下記申込先までお送りください。
受付後、受講料のお支払いや受講方法などについてご連絡いたします。

【申込先】 E-Mail: sier-info@sic-sagamihara.jp FAX: 042-770-9077

WEBサイトは
こちらから

■ さがみはらロボット導入支援センターのWEBサイトからもお申し込みできます。

【URL】 <https://www.sic-sagamihara.jp/robot/seminar>



申込内容

すべての方	
受講枠（希望する受講枠に○）	本科生 ・ 単科生 ・ 修了生 ・ 学生
オリエンテーション 参加希望日（希望日程に☑） ※Zoom ミーティングを利用します。	令和 5 年 9 月 14 日（木）10 時～11 時
	令和 5 年 9 月 15 日（金）10 時～11 時
	※ご都合がつかない場合は、別途ご連絡ください
単科生・修了生・学生の方のみ	
受講科目（希望する科目に☑）	付加価値に着目したシンプルな設備設計
	ロボット Sler のための安全講座

受講者情報

企業名（学校名）	フリガナ
	氏名
所属部署（所属学科・研究室名等）	役職
所在地（企業または学校の所在地） 〒	
TEL	E-Mail
受講理由	
Sler 経験年数	受講済みの講座 （該当する場合 ☑）
	ロボット SI 基礎講座（Sler 協会） 産業用ロボット特別教育
得意とする業種・製品・生産工程など（学生の場合、専攻分野・研究テーマなど）	

※個人情報の取り扱いについて ・ご記入いただいた個人情報は、㈱さがみはら産業創造センターの事業に関する情報提供と参加者募集のご案内、ご連絡に利用させていただきます。
・個人情報は、取扱目的以外に利用したり、第三者に提供することはありません。